

クリーンセンター搬入不適物 と トラブル について

クリーンセンター搬入不適物とは

受入基準を超えた大きさのごみや、焼却処理や破碎処理に適さないごみが焼却炉や粗大ごみ破碎機に投入された場合、設備上でさまざまなトラブルを発生させます。

施設にダメージを与えるごみを搬入不適物とし、搬入不適物がごみピット内に投入されないように、計量棟や可燃ごみ・粗大ごみ受入場所にて監視・指導を行っています。

施設の紹介と搬入不適物が引き起こすトラブル

《 焼却施設 》

(1) ごみピット



ごみの貯留場所です。

ごみピットで貯められたごみは、クレーンにより攪拌（かくはん）され、ごみホッパ（焼却炉投入口）にごみを投入します。

ごみの攪拌は、焼却するごみを均質化するために必要な作業です。



ライターやマッチ、未使用の花火などの発火物は、ごみピット内部で火災を引き起こす原因となります。

ごみピットの中には、燃えるごみがたくさんあるよ。
だから、発火物があると大変危険なんだカリ。



(2) ごみホッパ



焼却炉投入口です。

ホッパの排出口の大きさは、縦90cm、横215cmとなります。投入基準を超える大きさの木材や畳などがごみホッパ内部に詰まり、**ホッパブリッジ**と呼ばれるトラブルを引き起こします。



ホッパブリッジによってごみが長時間供給されなくなると、ホッパ内の火災の原因になります。

木材や竹の大きさについては、

長さ1m未満、直径1.5cm未満

(多量でごみピットへの直投が望ましい場合)

また、剪定枝については、

枝葉のふくらみ 1m未満

上記規定内の大きさに切断してください。

(3) 焼却炉 (ストーカ式焼却炉)

ストーカとは、火格子を階段状に並べた燃焼装置のことです。

可動する火格子と可動しない火格子が互い違いになっており、可動する火格子が前後に動くことで、焼却炉下流へとごみを送ります。

ごみは、約2時間かけて焼却されます。



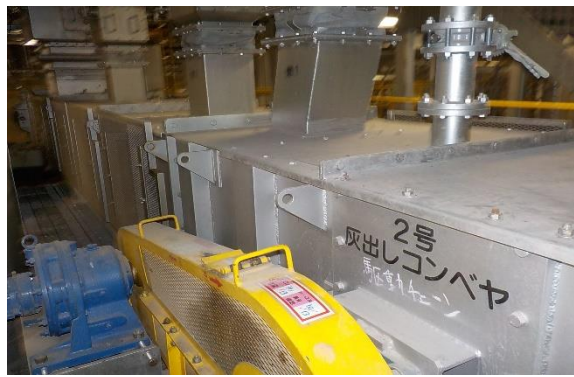
金属やガラス・陶器類などの不燃物は、焼却設備にさまざまなトラブルを引き起こす原因となります。

(**クリンカ現象**など)

また大きな丸太や木の根などは、完全に焼却されず、灰出しコンベヤなどを詰まらせる原因にもなります。



(4) 灰出しコンベヤ



灰を灰ピットまで送るためのコンベヤです。
また灰の薬剤処理を行うためのコンベヤもあります。



大きな金属類（農具、スプリング等）は、灰出しコンベヤでの詰まり、異常摩耗などのさまざまなトラブルの原因となり、最悪の場合、焼却処理の運転を止めてしまう場合があります。



灰出しコンベヤで詰まってしまったごみは、作業員による手作業でしか取り除けないんだ。
すごく大変な作業なんだっぴ。

～～ 実際にあったトラブル対応 ～～



ごみホッパ閉塞解消作業



灰出しコンベヤ閉塞解消作業

《 粗大ごみ破碎施設 》

(1) ごみピット



ごみの貯留場所です。

粗大ごみピットで貯められているごみは、プラスチックごみ、金属ごみ、プラスチックと金属の複合品など破碎を必要とするごみです。

(2) 破碎機

ハンマとカッターバー及びグレートによる強力な複合破碎力により、一瞬のうちに破碎する回転式破碎機です。



電池類や穴の開いていないスプレー缶は破碎することで爆発する危険があります。特に、電池入りの製品は電池を確実に外さなければなりません。

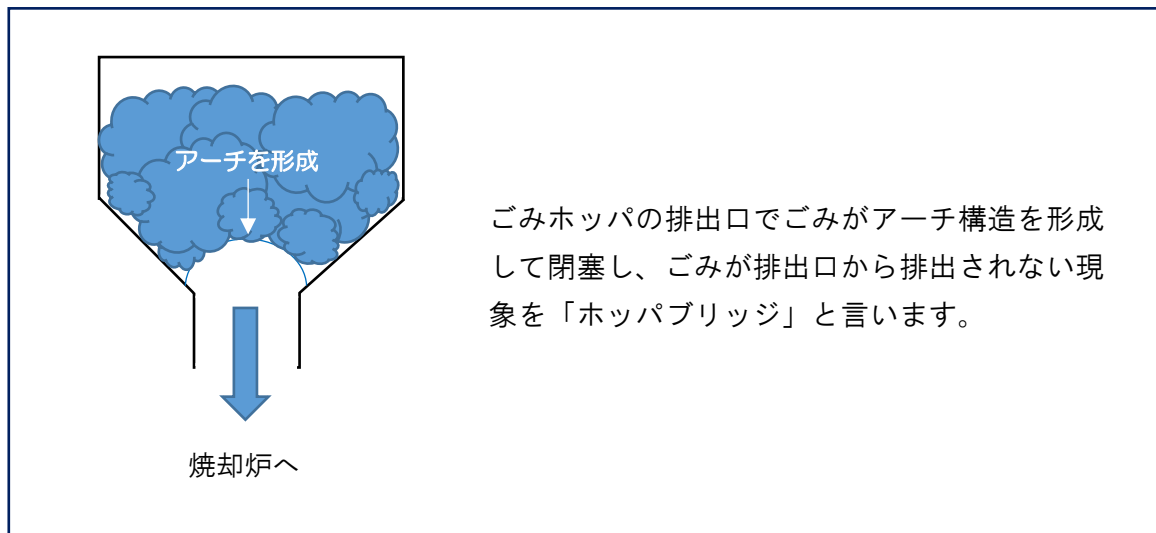


クリーンセンターは、施設を「安全」に、「安定」して稼働させることで、「安心」を与える“AAA”（トリプルエー）を基本理念に運営しております。

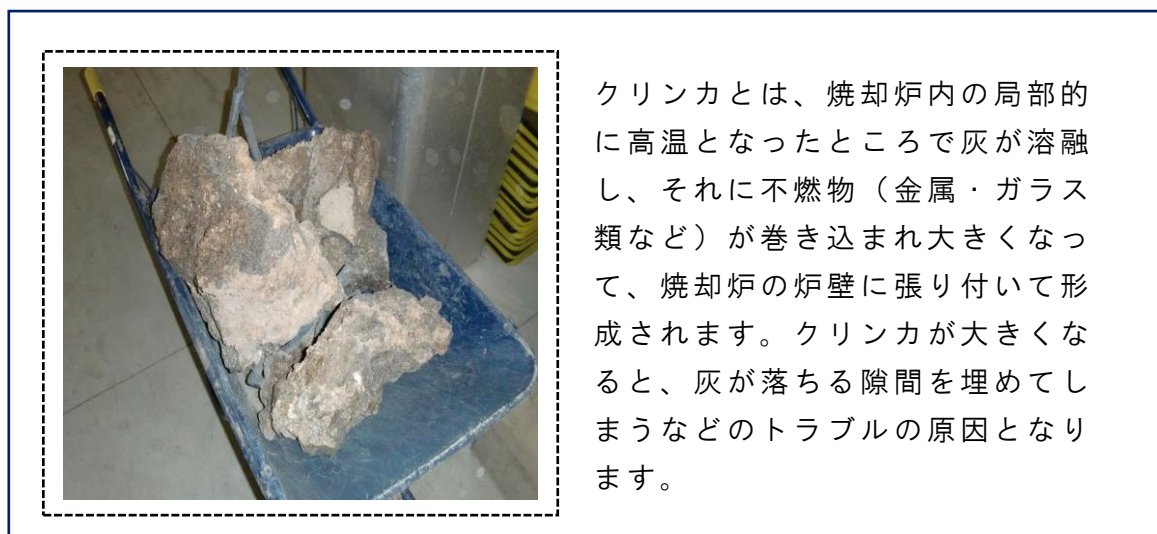
皆様のご理解とご協力を心からお願いいたします。



ホッパブリッジ



クリンカ現象



このページに関するお問い合わせ先

刈谷知立環境組合

愛知県刈谷市半城土町東田46番地

(電話) 0566-21-5389

(FAX) 0566-21-6865